

北海道災害ケースマネジメント研修会

【開催要綱】

- 1 目 的
災害時に、訪問等のアウトリーチにより被災者の状況を把握し、官民連携の下、多様な課題に対応することで、被災者の主体的な自立及び生活再建のプロセスを支援する「災害ケースマネジメント」は、国の防災基本計画に位置付けられている重要な実践である。

被災者の自立及び生活再建を円滑かつ効果的に進めるためには、平時から災害ケースマネジメントの理念の醸成を図るとともに、行政、社会福祉協議会、専門士業、NPO 等の多様な被災者支援主体が相互に認識し合えるネットワークの構築が不可欠である。

本研修会は、北海道において災害ケースマネジメントの実践を担う多様な関係者とともに、平成30年7月豪雨災害における岡山県倉敷市の事例を共有することにより、災害発生時の被災者支援力の強化を図ることを目的として開催する。
- 2 日 時
2026年9月16日（水）10:30～16:00
（任意参加プログラムは16:00～17:00／情報交換会は17:00～19:00）
- 3 場 所
TKP 札幌駅カンファレンスセンター ホール3C
（札幌市北区北7条西2丁目9 ベルヴェオフィス札幌3階）
- 4 主 催
北の国災害サポートチーム
- 5 後 援
旭川司法書士会／釧路司法書士会／札幌市／札幌司法書士会／認定特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク／全国保健師長会北海道支部／全国保健師長会札幌市支部／日本赤十字社北海道支部／特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会道央支部／特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会道央支部／特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会道南支部／特定非営利活動法人日本ファイナンシャル・プランナーズ協会道北支部／函館司法書士会／北海道／北海道医師会／特定非営利活動法人北海道 NPO サポートセンター／一般社団法人北海道介護支援専門員協会／公益社団法人北海道看護協会／北海道行政書士会／一般社団法人北海道建築士会／北海道公衆衛生協会／北海道災害復興支援基金（運営：認定特定非営利活動法人北海道 NPO ファンド）／社会福祉法人北海道社会福祉協議会／公益社団法人北海道社会福祉士会／北海道相談支援専門員交流会／北海道弁護士会連合会（五十音順・予定含む）
- 6 協 賛
募集中（9月6日まで）

- 7 参加対象者 行政職員（保健所含）／社会福祉協議会職員／社会福祉事業所・機関／災害時の保健医療福祉活動チームの登録員（DMAT、DPAT、DHEAT、DWAT、JRAT 等）／各種士業・職能団体（弁護士、建築士、FP、社会福祉士、精神保健福祉士、行政書士、保健師・看護師 等）／災害支援実践団体（被災者援護協力団体、災害支援 NPO 等）／大学教員・有識者・学識経験者／地方議会議員／北の国災害サポートチーム会員 等
- 8 プログラム 別紙のとおり。ただし当日までの検討や進行上の都合により変更になる可能性がありますのでご了承ください。
- 9 定 員 100 人
- 10 参 加 費 ①各省庁（地方局を含む）、北海道、北海道内市町村の職員 無料
②北海道社会福祉協議会、北海道内市町村社会福祉協議会の職員 無料
③その他の参加者 1,000 円／人
- 11 参加申込み 2026 年 9 月 6 日（日）23:59 までに、以下の方法でお申し込みください。
上記①・②（行政・社会福祉協議会）の方
Google フォーム：<https://forms.gle/cg517cu6enW6X5h19>
上記③（その他）の方
Peatix：<https://kitasapo-dcm.peatix.com>
※外部サイトの利用が難しい方は、問い合わせ先メールアドレスまでご連絡ください。
- 12 留意事項等 ①気象状況や災害の発生、会場運営会社の都合等により、急遽中止となる場合がございます。中止が決定した場合は速やかに主催団体のウェブサイトに掲載するとともに、申し込み時にいただいたメールアドレスへ連絡いたします。
②準備の都合上、9 月 11 日（金）23:59 以降のキャンセルならびに当日の欠席者は参加費を申し受けます。なお、該当者には後日資料を郵送いたします。
③参加希望者が定員を超過した場合の参加は先着順とします。なお機材および人員等の確保ができた場合はオンライン配信を行います。定員を超過する前のオンライン参加のご希望はお受けできません。
- 13 問い合わせ 北の国災害サポートチーム TEL：070-2427-7793
mail：info@kitasapo.net URL：<https://kitasapo.net/>



会場：TKP 札幌駅カンファレンスセンター
JR 札幌駅北口より徒歩 2 分
地下鉄さっぽろ駅 16 番出口より徒歩 1 分



北海道災害ケースマネジメント研修会

【プログラム】

時間	内容
10:00～	開場・受付開始
10:30～	開会・趣旨説明
11:00～	講演「災害ケースマネジメントの全体像～平成 30 年 7 月豪雨災害の岡山県の実践」 ▶ 県域の被災者見守り・相談支援事業（岡山県くらし復興サポートセンター）の構築にあたった講師から、災害ケースマネジメントの全体像を学びます。 講 師 椿原 恵 氏 社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会 統括専門員／元 社会福祉法人岡山県社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援班 岡山県くらし復興サポートセンター 副所長・総括生活支援員
12:00～	休憩
13:00～	実践報告「専門士業および支援機関の連携による災害ケースマネジメントの実践～平成 30 年 7 月豪雨災害の倉敷市の実践」 ▶ 倉敷市の被災者見守り・相談支援事業や倉敷市真備支え合いセンターで活躍した各種の専門職から災害ケースマネジメントの実践を学びます。 報告者 秋山 剛 氏 倉敷市市民病院 事務局長／元 倉敷市被災者見守り支援室 室長 井上 雅雄 氏 特定非営利活動法人おかやま入居支援センター 理事長／弁護士 渡邊 睦 氏 一般社団法人岡山県建築士会倉敷支部 災害対策委員会／建築士 佐藤 香名 氏 佐藤香名 FP オフィス 代表／ファイナンシャル・プランナー 椿原 恵 氏 社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会 統括専門員 進 行 篠原 辰二 北の国災害サポートチーム 代表／一般社団法人 Wellbe Design 理事長
14:50～	休憩
15:00～	まとめ・リフレクション 進 行 篠原 辰二 北の国災害サポートチーム 代表／一般社団法人 Wellbe Design 理事長
16:00 ～17:00	終了 ※任意参加プログラム① 登壇者とのアフタートーク
17:00 ～19:00	※任意参加プログラム② 登壇者・参加者相互の情報交換会（参加費：6,600 円/人） 事前のお申し込みが必要です

【登壇者等プロフィール】



椿原 恵 氏 (つばきはら めぐみ)

倉敷市社会福祉協議会 統括専門員 人材育成・組織体制強化 課長主幹 (兼) 相談支援体制強化推進室 室長

- 大牟田市社会福祉協議会事務局次長、全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)、岡山県くらし復興サポートセンター総括生活支援員・副所長を経て、2023 年度から現職。
- 平成 30 年 7 月豪雨災害発災当初は JVOAD スタッフとして、同年 10 月からは県社協職員として、主に倉敷市における被災者・被災地支援活動の後方支援に従事。
- 全国域・県域・市域という異なる圏域、NPO・社協 (県受託事業) という異なる立場から、災害時のソーシャルワークを一貫して展開してきた。



秋山 剛 氏 (あきやま つよし)

倉敷市立市民病院 事務局長

- 1992 年倉敷市役所入職、2018 年 7 月企画経営室 くらしき移住定住推進室に在籍中、平成 30 年 7 月豪雨災害を受け、倉敷市災害ボランティアセンターにリエゾンとして派遣。
- 2019 年 4 月健康長寿課 被災者見守り支援室室長に着任し、被災者見守り・相談支援等事業 (厚生労働省や災害ケースマネジメント (内閣府) を展開。
- 2022 年 4 月保健福祉推進課 福祉支援連携室室長となり重層的支援体制整備事業 (厚生労働省) を担当。2026 年 4 月より現職



井上 雅雄 氏 (いのうえ まさお)

特定非営利活動法人おかやま入居支援センター 理事長

- 弁護士 (弁護士法人岡山パブリック法律事務所倉敷支所長)
- 特定非営利活動法人おかやま入居支援センター理事長として、平成 30 年 7 月豪雨災害の被災者を対象に、みなし仮設住宅入居世帯への伴走型の生活再建支援に取り組む。
- 一般社団法人居住支援全国ネットワーク理事 (総務担当) として、休眠預金等活用事業の資金分配団体の立場から令和 6 年能登半島地震の被災者支援にも携わる。
- 特定非営利活動法人子どもシェルターモモ理事長。



渡邊 睦 氏 (わたなべ むつみ)

睦月工房一級建築士事務所代表
(一社) 岡山県建築士会倉敷支部 / 災害対策委員会 / 一級建築士

- 倉敷市にて住宅設計・木造住宅耐震診断補強などに従事する。
- 平成 30 年 7 月豪雨災害においては、被災住家相談員として現地対応。
- 平成 2 年より「り災住家等長期居住者アドバイザー事業」に参加し協働の重要性を学ぶ。
- 現在は建築士会での活動の他、地域・学校・個人での防災活動を積極的に行っている。



佐藤 香名 氏 (さとう かな)

佐藤香名 FP オフィス 代表
災害支援ネットワークおかやま 世話人

- ファイナンシャル・プランナーとして、セミナー・執筆・個別相談・金融教育を行う。
- 平成 30 年 7 月豪雨災害においては住宅再建、生活再建での相談業務にあたり、災害支援ネットワークおかやまの世話人を務め、復旧ロードマップを作成。岡山県社会福祉協議会では専門職アドバイザーに任命され、災害ケース会議に参加。
- 岡山出身。4 児の母。
- 災害に役立つ支援制度の普及が認められ、令和 6 年度金融知識普及功労者表彰を受賞

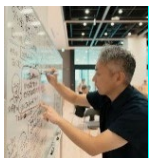


篠原 辰二 (しのはらしんじ)

一般社団法人 Wellbe Design 理事長
北の国災害サポートチーム 代表
社会福祉士

- 2012 年に一般社団法人 Wellbe Design を立ち上げ、北海道内外で地域福祉の推進を担う機関への支援や専門職等の育成などを行うほか、災害時には被災者の生活再建支援に向けた支援体制の構築などを行っている。
- 平成 30 年 7 月豪雨災害においては岡山県社会福祉協議会に設置された「暮らし復興サポートセンター」のアドバイザーを務めた。
- 2019 年に北海道の災害中間支援組織北の国災害サポートチームを組織し代表を務める。

グラフィッカー 溝渕 清彦 氏 (みぞぶち きよひこ) グラファイト 代表



- 対話の場づくりや議論の可視化等の社会教育活動に従事。
- 長年、社会教育主事講習等のファシリテーション研修講師の実績があり、北海道地学協働アドバイザー (北海道教育庁) 等を務める。また (公財) 北海道環境財団職員として、環境省北海道環境パートナーシップオフィス (EPO 北海道) 運営業務を担当。
- その他、防災教育やバイオ炭の製造、アウトドア事業等にも関わり、多様な領域から持続可能な地域づくりの支援に取り組む。